

# 干渉計インストールプラン

## 常温シリカRSE

- ITMの屈折率と位置が違う
- 長さ制御の方法はbLCGTと同一
- WFSはGouy Phaseがちょっと違う
- PRC/SRCとのモードマッチングの為には30cm程度PRM等を動かす必要がある
- ITM/ETMをグリーンコーティングする必要がある
- Sapphireミラーで常温RSEをやるのに対する利点は、Sapphireミラーが用意できなくてiLCGT後にやる事が無くなった場合に、先にRSEを試せるという点のみ？

## 麻生が考える現実的なスケジュール

- 14年度末に 真空インストール完了 クリーンルームも完成していると仮定(怪しいが)
- サスペンションインストール(for iLCGT)完了 15年度末
  - 上部固定Type-B (PRC, BS, ITMs/ETMs) SRCは除外
- 15年中にX-arm用サスペンションがインストールできた時点でX-arm実験開始
- 16年度中にコミッショニング。16年度後半にFPMIロック
  - この期間中にSRC用サスペンション(Full Type-B)のインストール
- 16年度末か17年度初頭に短い観測
- 17年度にサスペンション交換作業
  - ITM交換後、PRMI, PRSRMIのテスト
- 18年度頭からFull bLCGTコミッショニング
- 適宜観測